

記入例)

水路測量許可申請書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

海上保安庁長官
又は
第〇管区海上保安本部長

殿

住 所： 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地
氏名又は名称： 〇〇県〇〇局長
〇〇 太郎

水路業務法第六条の規定により、下記のとおり水路測量の許可を申請します。

記

- 1 目 的 例) 〇〇港〇〇区〇〇埠頭〇号岸壁(ー8.5m)の完成に伴う海図補正のための測量
例) 海岸形状把握のための測量
- 2 区 域 〇〇港〇〇区 又は 〇〇海岸
- 3 水路測量標の設置の有無 なし
- 4 事 項
 灯台その他の物標の標高 可航水域の上空にある橋梁その他の障害物の高さ
 干出する岩その他の物及び干出堆の高さ 水深 海岸線 低潮線
 浮標の位置 底質 その他()
- 5 測定又は調査の方法
測位はGNSSを使用し船位を測定する。水深はマルチビーム音響測深機(△△社製
〇〇型)を使用する。最低水面は〇〇による。その他詳細は実施計画書のとおり。
- 6 期 間
令和〇〇年〇〇月〇〇日 ~ 令和〇〇年〇〇月〇〇日(うち 〇日間)
- 7 成果の提出
 予定期日 令和〇〇年〇〇月〇〇日
 形 式 〇〇深淺図、〇〇報告書 など
- 8 水路測量を計画する機関
 名 称 〇〇県〇〇局
 代表者の氏名 〇〇局長 〇〇 太郎
 所 在 地 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地
- 9 水路測量作業を行う機関
 名 称 〇〇〇〇測量株式会社
 代表者の氏名 〇〇 花子
 所 在 地 〇〇市〇〇町〇〇番地
 水路測量作業従事者

氏 名	実 務 略 歴	資 格
〇〇 一郎	水路測量30年	水路測量技術検定沿岸一級
〇〇 次郎	水路測量10年	水路測量技術検定沿岸一級
〇〇 三郎	水路測量 5年	水路測量技術検定沿岸二級
- 10 備 考 (計画機関の担当者名等)
 担当者： 〇〇県〇〇局〇〇部〇〇課 〇〇 花子
 TEL： (〇〇〇) 〇〇〇-〇〇〇〇